

令和5年度 指定管理者施設管理評価シート		部課名	福祉部高齢福祉課	
施設名称	16 東京都台東区立やなか高齢者在宅サービスセンター	指定管理者	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定期間	R2.4.1	～ R7.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(2)	[所在地] 台東区谷中2-17-20 [規模] 延べ床面積 2,794.36㎡の内577.06㎡ 鉄筋コンクリート造地上3階地下1階のうち1階の一部
(3)	[委託事業] ①通所介護（送迎・入浴・食事・機能訓練・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等）、②介護予防通所介護（送迎・入浴・食事・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等）（定員35名） [自主事業] 自主事業は行っていない
(4)	[利用者] 要支援・要介護と認定された高齢者 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 月曜日から土曜日（年始1月1日～2日を除く）8時30分～17時15分
(6)	[人員体制] 27名 （内 訳）施設長(1(兼務))、生活相談員(2)、栄養士(1(兼務))、機能訓練指導員(アルバイト3)、看護師(短1、アルバイト1)、ケアワーカー(常1(兼)、短4、アルバイト8)、その他(アルバイト8) （前年増減）3名増〔ケアワーカー（アルバイト+1）、その他(アルバイト+2)〕

2. 予算決算		R3予算	R3決算	R4予算	R4決算
収入	委託料（指定管理料）	9,843,000	9,843,000	9,920,550	9,920,550
	利用料金収入	73,239,000	72,692,426	75,563,000	64,249,468
	その他収入（雑収入等）	576,000	647,200	576,450	3,369,797
	計	83,658,000	83,182,626	86,060,000	77,539,815
支出	人件費	50,383,000	52,769,625	51,521,000	56,128,379
	光熱水費	4,623,000	4,919,533	4,646,000	5,821,337
	維持管理費（委託料・賃借料）	14,811,000	14,562,206	15,115,000	14,006,541
	修繕費	500,000	277,806	700,000	163,130
	事業費	0	0	0	0
	その他支出（給食費等）	13,341,000	8,603,983	14,078,000	9,177,788
	計	83,658,000	81,133,153	86,060,000	85,297,175
収支			2,049,473		-7,757,360

3. 活動指標	単位	(目標値)R6年度	R2年度	R3年度	R4年度
開館日数	日	311	311	312	306
定員	人	35	35	35	35

4. 成果指標	単位	(目標値)R6年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用率	%	75.0	78.5	80.7	71.8
利用者数	人	8,164	7,609	8,812	7,687

5. 前回評価及び第三者評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

人件費に関しては予算よりも多く支出しており、前回課題であった予算との均衡を取るには至っていないが、行事等に関しては再考し、新型コロナウイルス感染防止対策をしつつ、少しずつ再開できるよう取り組んでいる。

6. 評価の観点

(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり)
(13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った

(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	関係法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、管理運営は適正に行われている。また、従業員の労働環境への配慮、コロナ禍という状況を鑑みて感染疑い時の服務取扱いも定められている。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	新型コロナによる影響を受け利用率が低下したが、令和3年度に引き続き休館日を減らす、送迎をきめ細かに行うなど改善を試みている。また、適正な人員配置による施設の適切な管理運営、研修参加による技能向上に取り組んでいる。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
18 / 20 点	一時的に新型コロナウイルス感染者が多く出たものの、再発防止に努め、施設の管理委託点検結果の確認や、職員による日常巡回・定期巡回による異常箇所の早期発見及び早急な修繕、定期清掃など、適切な事故防止措置・衛生管理に努めている。
(4) サービス向上の取り組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取り組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	満足度調査の集計結果や要望・意見について、多職種間で共有・検討し、日常業務へ反映できるよう努めている。新型コロナ対策のため個別活動が主であるが、個別活動の充実を図りつつ、行事を少しずつ再開させられるよう努めるなど満足度向上に取り組んでいる。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
16 / 20 点	新型コロナの影響による利用控えにより、利用率が低下し、利用料金収入が減となっている。一方、維持管理費・修繕費は令和3年度や予算より抑えられている。そのため、利用率向上による利用料収入の改善が必要である。
(6) 優れた取り組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
— 点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)

良好 (93 / 110点)	【所見】 人件費・光熱水費の増はあるものの、維持管理費・修繕費は予算内に抑えられており、適正な執行状況である。また、計画的な研修参加や、要望・意見への対応等により利用者の満足度向上に努めている。	【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】 新型コロナの影響を受け、一時休業したことで利用率の低下が大きな要因となり、介護報酬の収入減により、マイナス収支となっている。支出は予算内に抑えられているため、収入増となるよう利用率の向上が必要である。